

第68回日本PTA全国研究大会

第76回日本PTA東海北陸ブロック研究大会

富山大会



キトキト みんなで とやまなび
～ ころろが今日も笑顔でありますように～

2020. 8.28 **金** 8.29 **土**
分科会 全体会



富山大会ホームページ
<https://toyamataikai.jimdofree.com>

ごあいさつ



公益社団法人
日本PTA全国協議会
会長 佐藤 秀行

全国800万人の会員の皆様と共に歩んできた日本PTAは、本年で72年目を迎え、第68回日本PTA全国研究大会富山大会を開催することとなりました。

PTAは、子どもを中心において、家庭・学校・地域の連携の要としての役割の担い手として、様々な機会をとらえて学びを深めてまいりました。日々、全国各地において活躍されている会員の皆さんが一堂に会する場として、富山県PTA連合会の皆様の協力を得て開催されます本大会では、メインテーマとして

- 大切な命を尊び、強くたくましく生きる力を育むPTA活動
- 家庭・学校・地域と共に創るPTA活動
- 郷土を愛し、郷土に誇りを持つPTA活動
- 未来を見据え、次世代に伝えつなげるPTA活動

を掲げ、8つの分科会と2つの特別分科会、全体会を準備し、参加された皆さんがそれぞれのPTAに持ち帰り実践できるものにできるように、実行委員会と日本PTA役員と一緒に作り上げていくところです。

是非楽しみにして頂きたいと思います。自然豊かな富山の地で全国の会員の皆様のお越しを、富山県PTA連合会の皆様と共に心よりお待ちしております。



第68回日本PTA全国研究大会
第76回日本PTA東海北陸ブロック研究大会

富山大会

大会趣旨

今日、少子高齢化、人口減少や人工知能(AI)の進化等、社会が大きな転換点を迎え、今まで以上のスピードで人々の生き方や働き方が大きく変化しています。

そのような中、社会が直面する様々な課題を解決して持続可能な地域社会づくりを進めるとともに、「人生100年時代」において、自分の未来を展望し、生涯にわたって学び続け、生き生きと心豊かに生きる個人の充実した人生を実現するため社会教育の重要性が指摘されています。

そして、子どもたちが未来に向かって明るい夢や希望を持ち、たくましく生きていけるように、家庭・地域の教育力の向上を社会全体で考えていくことが期待されています。

そこで私たちは、愛する子どもたちのために、人づくり・絆づくり・地域づくりを進め、家庭・学校・地域が互いに、より強固に連携、協力し、みんなが本気で考え、一人ひとりが当事者意識をもって学び、行動していくことが大切です。

自然豊かな富山の地には、厳しい自然環境やさまざまな困難に果敢に挑み、たくましく生き抜いてきた先人たちのおおいが受け継がれています。

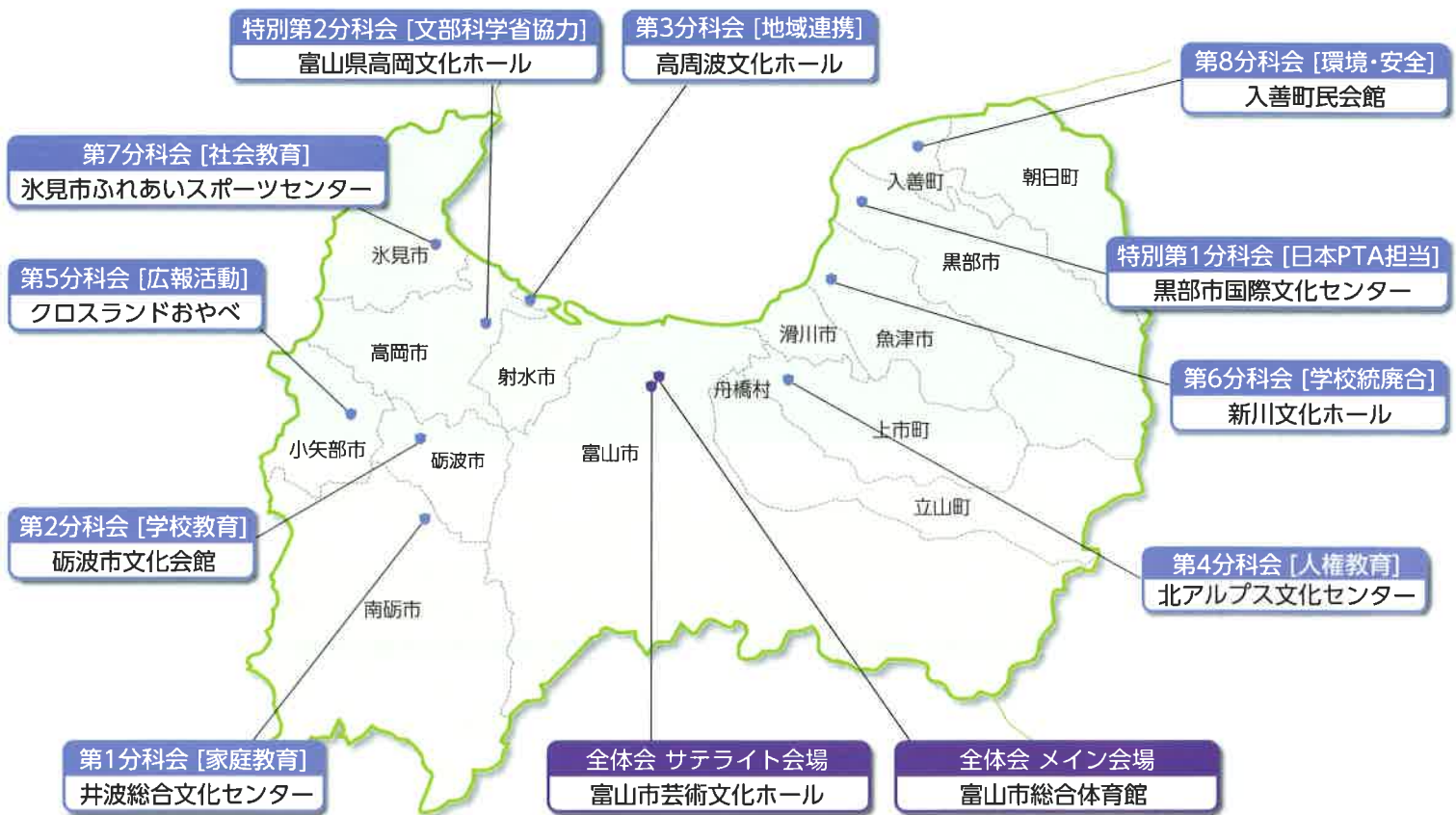
その富山の地で、大会スローガンにある「とやまなび」を合言葉とし、全国のPTA会員の皆さんとともに、未来へ伝えつなげるPTA活動を語り、学び合ひましょう。

日程

- 分科会** 8月28日(金)
富山県内10分科会(10会場)
- 全体会** 8月29日(土)
メイン会場 富山市総合体育館 第1アリーナ
サテライト会場 富山市芸術文化ホール (オーバード・ホール)
- 参加者** 全国小・中学校PTA会員及び関係者 8,000人
- 参加費** 一人 5,000円

メインテーマ

- 大切な命を尊び、強くたくましく生きる力を育むPTA活動
- 家庭・学校・地域と共に創るPTA活動
- 郷土を愛し、郷土に誇りを持つPTA活動
- 未来を見据え、次世代に伝えつなげるPTA活動



全体会記念講演 8月29日(土)

講師 **細田 守氏**
アニメーション映画監督、演出家

撮影/神藤 剛

1967年、富山県出身。1991年に東映動画(現・東映アニメーション)へ入社し、アニメーターを経て演出家(監督)になる。1999年に『劇場版デジモンアドベンチャー』で映画監督としてデビューを果たす。その後、フリーとなり、『時をかける少女』(06)、『サマーウォーズ』(09)を監督し、国内外で注目を集める。11年、自身のアニメーション映画制作会社「スタジオ地図」を設立し、『おおききこどもの雨と雪』(12)、『バケモノの子』(15)とともに監督・脚本・原作を手がけた。最新作『未来のミライ』(監督・脚本・原作)は第71回カンヌ国際映画祭・監督週間に出展され、第91回米国アカデミー賞®長編アニメーション作品賞にノミネートされた。